断片的帰路

ダイチ

前のワゴン車が３５回目のブレーキを踏んだ

そのうちの２４回は自分を守るために踏んで

残りは、修理費と野良犬のために踏んだ

「ア･イ･シ･テ･ル」のサインなら７回分だ

愛するよりも死んだり殺したりする方が容易いらしい

フロントガラスに映るうろこ雲は夕暮れのノスタルジーに蓋をする

車内のデジタル時計に３分足して本当の時間を計算してる間に

星空の端がすべり込んできた

今日も神様の紙芝居は絶妙な塩梅だったようだ

金曜日の帰り路はいろんなものがよく見える

ひび割れた横断歩道は街灯に照らされ

ウサギの横顔が浮かんでいた

うろこ雲にかまけて、月からとび跳ねてきたらしい

たまには世界を見上げることも必要なんだ、って教えてくれるの？

窓から入る夜の風で僕は輪郭を忘れてゆく

朝から飲みかけの缶コーヒーに軽蔑をくれてやって

今日は車庫に頭から突っ込んだ

ドアをバタリ。

「ただいま」を言った瞬間

自分は臆病な幸せ者になった